



日本人会図書室へようこそ



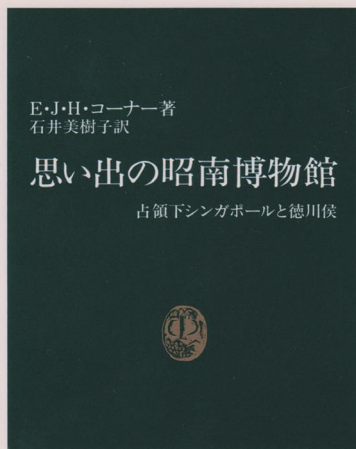
大人図書室より

前回ご案内した「シンガポールコレクションコーナー」から、ガイドブックには載っていないシンガポールを知りたい方に、おすすめの本をご紹介します。

思い出の昭南博物館 (E・J・H・コーナー著)

第二次世界大戦下のシンガポール。当時の植物園副園長だった英国人科学者E・J・H・コーナー博士による回想録。敵対していた国の人が書いたとは思えないほど穏やかな筆致で(翻訳が丁寧です)、1942年占領直後の様子が語られます。戦争下であって、植民地時代の研究の成果である博物館と植物園という「文化財と学問を占領の混乱と戦争の非常時から守ったのは、日本人科学者であった。」というプロローグから、筆者は徳川義親元侯爵をはじめとする日本人との交流、科学者として助け合った日々について綴ります。シンガポールの歴史を読む時、この時代について私たちは加害者意識で避けてしまいがちですが、学者らしい落ち着いた文章で当時の様子を伝えるこの新書はきっと新しい光を暗い時代に当ててくれることでしょう。同書は長らく絶版になっていましたが、アジア紀伊国屋書店で限定販売されたアジア絶版文庫シリーズの一冊です。

英語版はシンガポールの公立図書館の蔵書となっていますが、閲覧は不可となっています。



中公新書
659

リー・クアンユー回顧録(リー・クアンユー著)

シンガポール初代首相、その後上級相として長くシンガポールの成長を指導してきた故リー・クアンユー氏が2000年に出版した回顧録は、シンガポール人の家庭にお邪魔すると必ず本棚に並んでいる本です。上巻は幼少期から日本軍占領下での苦労を経て1965年の独立までの様子を克明に記しています。「リー・クアンユーにシンガポールは小さすぎた」と当時世界の指導者に言わしめた頭脳明晰で指導力抜群の建国の父が書く文章はシャープで、読み応えがあります。下巻は独立後の各国との関係についての記述が大半ですが、当時の指導者とのやりとりは、国民性という点で今の時代の外交関係にも通じるものがあります。余談ですが、こ

れを読むと今のシンガポールの罰金制度は、占領下の日本軍が厳しすぎる規則をシンガポール人に課していたことがヒントになったのが分かります。



Item Barcode 1700507



Item Barcode 1700508

子ども図書室より

子ども図書室からも、シンガポールを知りたいお子さんにおすすめの本を紹介します。

ハングリーゴーストとぼくらの夏(長江優子著)

小学校6年生の朝芽(はじめ)は父親の転勤でシンガポールに引っ越してきました。ある日、一人で遊びに行くようになった植物園で、肩に猿を乗せたイギリス人と出会います。彼は植物学者で大切な標本を無くしたようです。そこから朝芽は過去からの人々と次々に知り合います。そして仲間とともに失われた植物標本を探し始めます。

「思い出の昭南博物館」をベースにしたような、子ども向けのお話です。小学校中学年以上のお子さんに日本とシンガポールの歴史について紹介するのに手頃な内容です。



Item Barcode 148465

子ども図書室の新コーナー

今年は124年ぶりに日付が変わり、2月2日が節分です。子ども図書室ではこの時期におすすめの「おにのえほん」コーナーを設けました。可愛い鬼、こわい鬼、様々な鬼が集合します。また、節分の次は立春です。「はるのえほん」で日本の四季や行事について、本を通し親子で楽しませてはいかがでしょうか。

文責：図書室運営委員会 ヤング靖子・
図書室 川島利江
画像：図書室



図書購入リクエストについて

日本人会では、会員の皆様からの図書のリクエストを受け付けています。

リクエストされたご本人だけでなく、会員の皆様に楽しんで頂けるような良書をご推薦下さい。リクエストは1ヶ月1家庭につき5冊まで可能ですが、古すぎる本、専門的すぎる本、高価すぎる本はご遠慮下さい。リクエスト用紙に購入希望の理由などもお書き頂けると助かります。

リクエストは図書購入の参考にさせていただきますが、ご希望に添えられない場合もありますのでご了承下さい。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防対策に基づく図書室ご利用の最新ルールは日本人会のウェブサイトでご確認下さい。

皆様のご利用をお待ちしております。

※現在、ご寄付の古本のお持ち込みについてはお控え頂きますようお願いしております。ご協力ありがとうございます。



子ども図書室の新コーナー

週刊誌は現在購入を見合わせておりますが、月刊誌はご利用いただけます。
閲覧可能な雑誌については右のQRでご確認下さい。



QRコード
配架中の雑誌一覧